

小中一貫教育だより

「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて～

目標をつなぐ
カリキュラムをつなぐ
子どもの心をつなぐ
教職員の意識をつなぐ
家庭・地域の絆をつなぐ
「小中一貫教育！」



令和6年度（2024年度）
No.5（2024.12.18）
担当：熊本市教育委員会事務局
学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

小中一貫校・モデル校で行われた「幼小中連携の日」

龍田中学校区「幼小中連携の日」 会場：龍田小学校

11月27日(水)、モデル校である龍田中学校区の「幼小中連携の日」が、龍田小学校で行われました。

龍田中学校区では、「幼小中連携カリキュラム」の項目である「掃除」、「気持ちの良い挨拶」、「時間厳守」、「毎日の家庭学習」に関連させて、「規範意識（時間を守る）」、「挨拶、礼儀」、「勤労（清掃活動）」を柱として道徳の「小中一貫カリキュラム」が作成されています。

そこで、今回の「幼小中連携の日」では、「小中一貫カリキュラム」に基づき、低中高学年の道徳の授業が公開されました。1年生は「わすれていること、なあい（あいさつをきちんと）」（B礼儀）、3年生は「三人の仕事」（C勤労、公共の精神）、5年生は「あいさつって（礼さとは）」（B礼儀）の授業が行われました。



高学年（5年生）公開授業



幼小中連携カリキュラムの見直しの様子

分科会も低中高学年の三つの部会に分かれて、幼小中連携テーマである「あたりまえのことを『あたりまえ』に実践できる児童・生徒の育成～道徳教育の実践を通して～」に基づき、公開授業の振り返り、グループ協議、全体での共有、「幼小中連携カリキュラム」の見直しが話し合われました。

参加された先生方からは、次のような感想が聞かれました。

- 自学ノートをお互いにどれだけ出しているか知らなかった。今やっていることが、中学校につながっているのか考える機会になった。
- 今日各学校のいろいろな取組が聞けたので、自分も実践していきたい。
- 中学生の姿を動画に撮って、小学生に見せてもらいたい。情報共有のための Teams があっていいですね。

城南中学校区「幼小中連携の日」 会場：川尻小学校

11月29日(金)、令和5年度より小中一貫校となった城南中学校区の「幼小中連携の日」が、川尻小学校で行われました。

公開授業が全学級で行われた後、分科会は、幼保小部会、学習・小中一貫部会、生徒指導部会、特別支援部会、教務部会の5つの部会が開かれました。

全ての分科会の前半で、参加された先生方は「アドジャン」を体験されました。

「アドジャン」とは、「かかわりプログラム Simple」代表の曾山和彦氏（元名城大学教授）が「スリンプル（スリム&シンプル）プログラム」の一つとして提唱されている手法の一つです。「アドジャン！」の掛け声でじゃんけんをしてその指の合計の数で、あらかじめ決められたトークテーマの番号について一人ずつ話をしていくソーシャルスキルトレーニングです。

この取組は、すでに託麻東小学校で「託東タイム」として7年前から、その後、同じ小中一貫校である二岡中学校でも5年前から始められました。曾山氏の著書でも紹介されています。

今回の川尻小学校でも昨年度より始められ、毎週火曜日、朝自習の10分間、実施されています。そして、同じ城南中学校区の城南小学校でも今年度より始められて、徐々に校区内に広まってきました。今後、小中一貫教育の取組として定着していくことが期待されます。



5年1組公開授業（算数）



アドジャンを体験する先生たち

分科会後の全体会（Zoom）で、「アドジャン」について、次のような感想が報告されました。

- 自分の話を笑顔で受け止めてもらいうれしかった。グループ活動もスムーズに進み、このような活動をしていけば、温かい学級へつながっていくのではないかと思った。
- 知らない相手も知ることができたので、話すこと以外に聞く力も高まるのではないかと思った。
- 短い限られた時間ではあったが、内容がだんだん深まっていた。

（教職員間での共通認識の醸成）

小中一貫教育の構想に当たっては、小学校の教職員と中学校の教職員間の議論により、共通認識を醸成するプロセスが重要です。例えば、それぞれの学校の子供たちの良いところや伸ばしたいところ、小中一貫教育の導入により重点的に取り組みたいことなどについてワークショップ等を通じて話し合うことが考えられます。

特に1つの中学校に複数の小学校が接続する形態で小中一貫教育を導入する場合には、具体的な話になればなるほど、A小とC中、B小とC中といった具合に個別の課題が見えてきますが、A小・B小に共通なC中ブロックとしての課題を優先して、全ての小・中学校で共にその課題克服に努めるといった手順を踏むことが現実的です。

[小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引 \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp) 【p26～27】より